

2022年度

中等部第2回

社 会

令和4年2月2日実施

40分

〔受験上の注意〕

1. 問題は14ページまでです。
2. 解答時間は 40 分です。
3. 解答用紙はこの冊子の最後にあります。キリトリ線より切りはなしてください。
解答は解答用紙の所定のところに記入してください。
4. 問題用紙・解答用紙に、受験番号・氏名を記入してください。
5. 答えはすべて解答欄^{らん}に記入してください。なお、漢字で書くべきところは漢字で書いてください。

受 験 番 号	氏 名

〈はじめに〉

20世紀後半から、地球の平均気温は上昇を続けています。それに伴って、大雨や海面の上昇など、水に関わる環境の変化が現われています。

海に囲まれた日本列島に暮らす私たちの暮らしは、水とは深いつながりがあります。生活に関係の深い水辺の生き物に触れながら、これからの社会について考えてみましょう。

日本列島は、国土の多くが温帯の雨の多い気候で、沿岸部には豊かな漁場が広がっています。約1万6500年前に温かな(1)□□時代が始まると、人々は獣や鳥の骨から釣り針や銚などを作り、魚や貝を採って暮らすようになりました。福井県の鳥浜貝塚では魚のほかにもサザエやシジミなど多くの貝類も出土しています。

6世紀の前半、日本に仏教が伝えられました。天皇を中心とする(2)□□国家づくりを進めた天武天皇（^{生まれた年}？～^{亡くなった年}686）は、仏教の教えに基づいて675年に殺生（生き物の命を奪うこと）や肉食を禁止する命令を出しました。これにより狩猟は制限され、特定の獣や鳥の肉などを食べることが禁じられましたが、魚やクジラ、イルカは禁止の対象とならず、その後の食卓で長く親しまれることになりました。

石麻呂に 我物申す 夏瘦せに 良しというものそ むなき捕り喫せ
大伴家持 『(3)□□□』より

この歌は、奈良時代にまとめられた日本最古の和歌集である『(3)□□□』に収められているものの一つで、「石麻呂さんに謹んで申し上げる。夏瘦せによいと言いますよ、ウナギを採って召し上がりなさい」というような意味です。今から1200年以上の昔、すでに夏にウナギを採って食べていたことが分かる歌です。ウナギは、今でも土用の丑の日（「土用」とは季節の変わり目を表す言葉の一つ。「丑」とは、子、丑、寅など十二支で表す暦の一つ。だいたい7月下旬から8月上旬にあたる）には夏バテ解消の食べ物として親しまれていますが、近年では川の護岸工事などによって住処が減ったり、捕り過ぎによる不漁が続いたりして、養殖の原料となる稚魚も捕れなくなり、今となってはなかなか食べられない高価な食べ物になっています。

このほか、『(3)□□□』にはアワビ、アユ、シジミ、カツオなどの水産物が食用として歌に詠まれており、当時の食生活を知ることができます。

(4)□□□年に菅原道真（845～903）の意見により遣唐使が廃止されてから、それまで詠まれていた漢詩（漢字を使った、中国の文法で詠まれた詩）に代わって、和歌を詠む風習が貴族を中心に広がりました。『古今和歌集』をはじめとする平安時

代の和歌では、食べ物に関するテーマはあまり良いものとされず、避けられるのが一般的でした。ここでは風景などを詠んだ歌に水辺の生き物が登場しています。

霞^{かすみ}しく 波^はの初花^{はつはな} 折りかけて 桜鯛^{さくらだい}釣る 沖^{あま}の海人舟
西行^{さんかしゅう}『山家集』より

12世紀の僧、西行^{さいぎょう}（1118～1190）はもともと上皇^{じょうこう}（天皇を退位した人）を守る武士でしたが、1140年、23歳の時に出家して僧侶^{そうりょ}となり、諸国を巡りながら高野山などで修業^{しゆぎょう}に励み、多くの歌を残しました。1167年ころに四国の讃岐国（現在の香川県）を訪れ、8世紀にこの地で生まれた(5)□□（弘法大師）（774～835）^⑤の遺跡を訪れました。12世紀の終わりには鎌倉を訪れ、そこで幕府を開いた(6)□□□にも会っています。西行は、各地の暮らしの中で海辺の景色やそこに暮らす人々を多く歌に詠みました。

桜の咲く4月ごろ、産卵を前にして体の赤みが増し、濃い桜色になったタイを「桜鯛」といいます。タイは普段は海の深いところ^すに棲んでいますが、この時期には産卵のためにごく浅いところにあがってきます。古くからこの桜鯛を狙^{ねら}って漁がおこなわれてきました。上の和歌もそのようなすを歌ったものの一つで、「霞が立ちこめ、初花のように美しい白波が寄せては返すなか、沖合では漁船が桜鯛を釣っている」ということが詠まれています。

(7)□□□□（1542～1616）が江戸に幕府を開き、歌が民衆にも広まると、食材は季節を表す特色の一つとして、多く詠まれるようになりました。18世紀^⑧の学者、本居宣長^{もとりのりなが}（1730～1801）は日本最初の歴史書とされる『(8)□□□』を研究し、それを『(8)□□□伝』にまとめました。彼は其中で、『(8)□□□』の神話に登場する魚をタイであると考えました。このころから「タイは魚の王である」「めでたい（鯛）」と言われるようになり、祝いの席でタイの料理がふるまわれるなど、広く親しまれるようになりました。次のページの作品は『東海道五十三次』^{とうかいどうごじゅうさんづぎ}や『名所江戸百景』^{なしょえどひゃっけい}などの浮世絵で知られる(9)□□□□（1797～1858）による、四季折々のさまざまな魚と植物を組み合わせて描かれたものの一つです。タイと山椒^{さんや}（日本の山野に育つ植物で、葉や実を粉にしたものが香りづけや薬味として用いられる）のように、食材がテーマにされているものも多く、当時の人々の食への興味がうかがえます。



(9)□□□□『魚尽錦絵』より「鯛に山椒」
（『鳥獣虫魚の文学史』 鈴木健一編）

四方を海に囲まれた日本列島には各地に漁村が存在し、「海人」や「海部」と呼ばれた人たちが海にかかわる仕事をして暮らしていました。彼らは漁業だけでなく、海上での交易にも携^{たずさ}わり、近隣諸国との交流を担っていました。

(7)□□□□は摂津国^{せつつのくに}（現在の大阪府と兵庫県にまたがる地域）の淀川の河口に近い佃村^{つくだ}から江戸に漁民を呼びました。漁民たちは隅田川の河口にあった干潟^{ひがた}を埋め立て、そこで漁業をしながら暮らすようになりました。これが現在に残る「佃島」^{つくだじま}で、漁民たちは当時の優れた漁法を大坂（現在の大阪）から江戸へ伝えました。ここで水揚げされた漁獲物のうち、幕府に献上した残りを日本橋の魚市場で売ようになり、これが築地から現在の豊洲に続く魚市場となりました。また、佃島の漁民たちが小魚^{あまから}を甘辛く煮つけて保存食としたものが、後に佃煮^{つくだに}といわれるようになりました。江戸の漁民が漁場とした現在の東京湾は、当時は幕府のものでした。江戸前の漁業について、幕府は新たに漁民になることを制限して取り締まることで、漁民や彼らが暮らす漁村の数を限定して漁場の管理をおこないました。さらに漁民同士でも漁村や村の有力者である長百姓^{おさびやくしやう}が漁場や漁法などについての決まりを定めて、共同で管理することがおこなわれました。江戸城から近く、多くの川が流れ込む東京湾は世界でも有数の漁場^⑨として栄え、江戸の人々の食卓を支えました。

3代将軍徳川家光（1604～1651）のころには、オランダ、清国、朝鮮王国との貿易が活発におこなわれました。18世紀になると、ナマコやアワビ、サメなどの海産物を干した俵物^{たわらもの}と呼ばれる食べ物^⑩が盛んに輸出されました。国内でも商業が発展し、大坂は全国の流通の中心地として栄えました。周辺の漁村から集まった魚介類は、「雑喉場魚市場」と呼ばれた市場に集められ、これらは大坂だけでなく江戸や瀬戸内海を経由して日本海沿岸の地域にまで運ばれました。また、紀伊半島や九州

の北西部では、捕鯨が盛んにおこなわれました。クジラの赤身は地元で刺身^{さしみ}にしたり煮たりして食べられ、残った部分や内臓は塩漬^{しほづけ}けにされて保存食として利用されました。皮に近い部分は「白手物^{しろてもの}」と呼ばれ、鯨油^{げいゆ}として灯りの燃料や稲の害虫^{がいちゅうくじよ}駆除に用いられました。骨は細かく砕いて肥料として使われたり、削って漁具の原材料などに使われたりするなど、あますところなく活用されました。当時、「鯨一頭獲ると七浦^{ななうら}うるおう（七つの漁村の人々の暮らしが豊かになる）」といわれるほど、クジラは漁村に多くの富をもたらし、一大産業として栄えました。次の作品は葛飾北斎^{かつしかほくさい}（1760～1849）による、長崎県^⑧の五島列島^{ごとうりゅうしま}での捕鯨の様子を描いたものです。クジラを取り囲んだ捕鯨船が見張り小屋からの合図を待ち構えていることがうかがえます。



葛飾北斎『千絵の海 五島鯨突』
（『クジラと日本人』 大隅清治）

19世紀後半に幕府が倒れて新政府が誕生すると、日本は西洋の国々^{たいこう}に対抗するために近代化、工業化を進めました。漁業でも水産会社がいくつも作られ、大きな船で一度にたくさんの魚を捕るような漁法も用いられるようになりました。

⑨ 秋田県にある田沢湖^{たざわこ}は、水深400メートルを超える日本一深い湖です。この田沢湖には古くからクニマスと呼ばれるヒメマスに似た固有^{こゆう}のマスが棲んでいました。この魚は「1匹を米1升^{しょう}（容量の単位の一つで、約1.8リットル）と交換した」と言われたほど美味で、珍重^{ちんちょう}されていました。ところが、20世紀前半、クニマスをはじめとする田沢湖の生物はみな死んでしまいました。

というのも、日本が1931年に⑩□□事変を起こして中華民国の東北地方を侵略し、さらに⑪□□□□年の盧溝橋事件をきっかけにして、日中両国の全面戦争がはじまると、戦争のための工業生産を支えるエネルギーが必要になりました。そこで、1940年に水力発電所を建設して強い酸性の温泉水を田沢湖に引き込んだので

す。これにより、田沢湖は魚の棲まない湖になってしまいました。実はこの少し前の1935年に、クニマスの卵が山梨県の西湖や本栖湖、⑫□□県の琵琶湖などに⑬^{いしよく}移植^{もとす}されましたが、それらのことはすっかり忘れ去られ、これらの湖でのクニマスの生息も確認されませんでした。ところが、70年以上経った2010年、西湖で獲れた黒い体のヒメマスが大きな話題を呼びました。釣り人や漁業関係者の間ではまれに黒いヒメマスが獲れることは知られていましたが、まさかそれが田沢湖で絶滅したはずのクニマスであることは誰も予想しないことでした。この知らせは漁業関係者を中心に大きな反響^{はんきやう}を呼びました。現在、世界で唯一クニマスの生息が確認されている西湖では、種の保存に向けた取り組みが進められています。

人間が起こした環境の変化によって棲めなくなった生物は多く、東京都と神奈川県の間を流れる多摩川もかつてはひどく汚れていました。1950年代から1960年代にかけて、家庭から出る排水などによって汚染が進み、周囲へ嫌な臭いを漂^{ただよ}わせる魚の棲めない川となってしまいました。(7)□□□□も好んだとされ、幕府へ献上^{けんじやう}されるほどの名産だったアユも姿を消してしまいました。その後、排水^⑭の規制が進み、現在ではアユのほかヤマメやイワナなど多くの生物が棲めるようになりました。

その一方で、ペットで飼われていたり食用として輸入されたりした外国原産の生物が日本の河川に放され、生態系に影響を及ぼしている例も全国各地にあります。多摩川にも南北アメリカ大陸原産のミシシippiaアカミミガメやアメリカナマズなどが多く生息しています。多摩川はブラジルのアマゾン川になぞらえ「タマゾン川」と呼ばれるなど、多くの生物が見つかります。

水辺と私たち人間の暮らしの共存を目指した町づくりは各地で見ることができます。京都府与謝郡^{よさぐん}にある伊根町^{いねちやう}には、19世紀後半から1950年代にかけてブリがたくさん水揚げされ、船の格納庫と住居を兼ねた「舟屋」が多く建てられました。現在でも200棟あまりが残っており、多くの人々がそこに暮らしています。2005年には重要伝統的建造物群保存地区に選ばれ、地元の人々は町だけでなく海のゴミの清掃もおこなうなど、その保全に努めています。また、伊根町には浦島太郎^{うらしまたろう}の物語の舞台となったとされる、浦島神社^⑮もあります。この神社は825年に当時の丹後国^{たんごのくに}（現在の京都府の北部）の豪族であった浦島一族^たを讃えて建てられたといわれています。

おもな参考文献

『鳥獣虫魚の文学史 日本古典の自然観4』 鈴木健一編 三弥井書店

『魚と日本人 食と職の経済学』 濱田武士 岩波新書

『クジラと日本人』 大隅清治 岩波新書

山梨県ホームページ

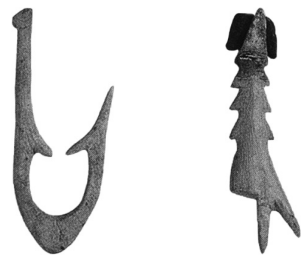
<https://www.pref.yamanashi.jp/miryoku/shizen/kunimasu/index.html>

文化庁ホームページ

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/hozonchiku/judenken_ichiran.html

問1 文章中の空欄(1)～(12)に入る語句・数字を答えなさい。□内に1字とする。漢字で書くべき語句は、漢字で書くこと。

問2 下線部㉔について、下の図のような道具をまとめて何といいますか、漢字で答えなさい。



(第一学習社『最新日本史図表』)

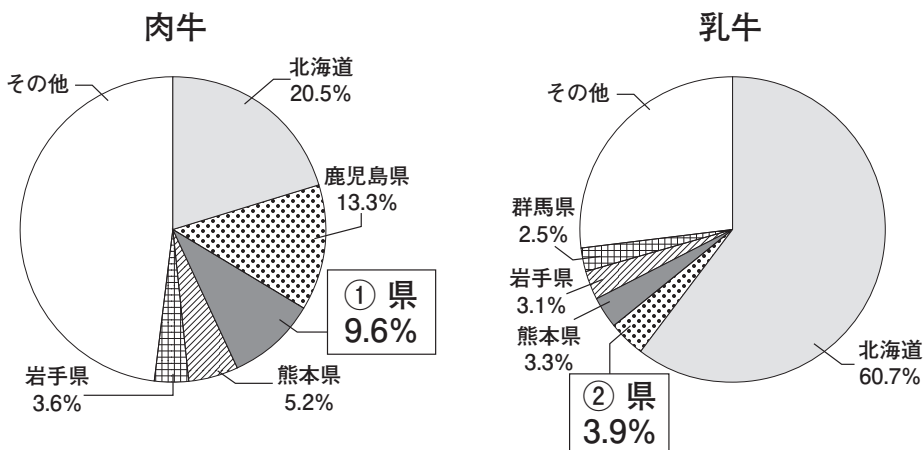
問3 下線部㉕について、貝塚の近くに建てられた、この時代の住まいを何といいますか、答えなさい。

問4 下線部㉖について、当時の朝鮮半島にあった国として間違っているものを、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 新羅 イ. 高麗 ウ. 百済 エ. 高句麗

問5 下線部㉗について、肉牛・乳牛ともに飼育数が日本一である北海道に関する次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 下の都道府県別の肉牛・乳牛飼育数の割合(2020年)を表したグラフの①②に当てはまる都道府県を、下から選び、記号で答えなさい。



(『日本国勢図会 2021/22』をもとに作成)

ア. 兵庫県 イ. 長野県 ウ. 福島県 エ. 宮崎県 オ. 栃木県

(2) 広い牧草地で牛を育てる酪農が盛んな北海道東部の広大な台地を、答えなさい。

(3) 1月から3月にかけて、オホーツク海沿岸に流氷が流れつきます。この流氷を運ぶ寒流を、漢字で答えなさい。

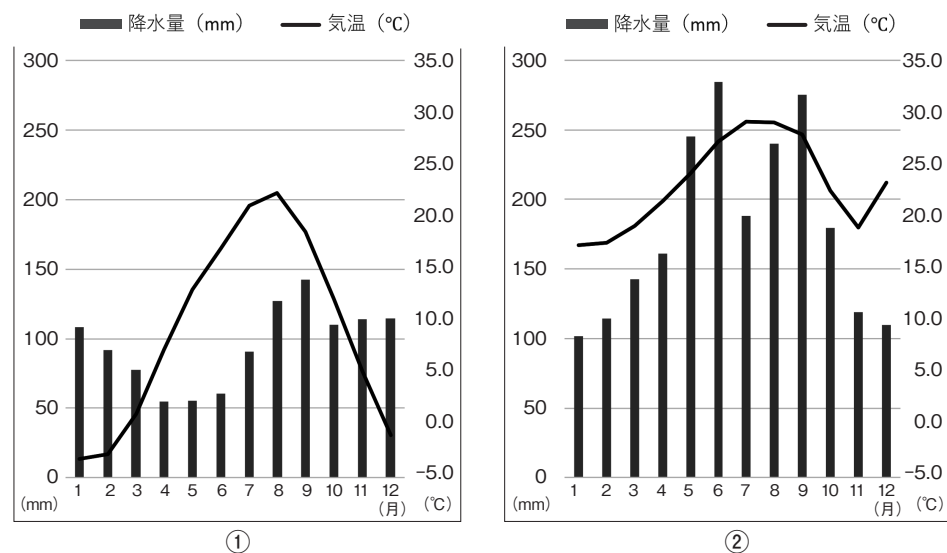
問6 下線部㉘について、次の(1)(2)の問いに答えなさい。

(1) 聖武天皇が仏教の力を借りて相次ぐ反乱や伝染病を鎮めようと国ごとに建てた寺を何といいますか、漢字3字で答えなさい。

(2) 用水路、道路の建設などに力を尽くし、大仏づくりを呼びかけた僧を、漢字で答えなさい。

問7 下線部㊦について、日本の季節や^{こよみ}暦に関する次の(1)(2)の問いに答えなさい。

(1) 日本の気候について、次の①②の図は、日本の2つの地域の気温と降水量を示したものです。図とその地域の気候を説明した文章として正しいものを、次のなかから選び、記号で答えなさい。



(『日本国勢図会 2021/22』をもとに作成)

- ア. ①は中部地方の図で、まわりを山に囲まれ降水量が少ない。また、夏と冬、昼と夜の気温の差が大きい。
- イ. ①は北海道地方の図で、梅雨や台風の影響を受けずに降水量が少ない。また、夏は涼しく、冬の寒さがきびしい。
- ウ. ②は北陸地方の図で、冬は北西からの風の影響で雪が多い。夏は晴れの日が多く、気温も高くなることが多い。
- エ. ②は東海地方の図で、夏から秋は台風の影響を受けやすく、冬は乾燥した晴れの日が続き、暖かく過ごしやすい。

(2) 次のア～エは、暮らしのなかで毎年決まった時期におこなわれる年中行事です。1月から12月の順に並べ替えなさい。

- ア. 七夕 イ. 節分 ウ. 七草がゆ エ. 七五三

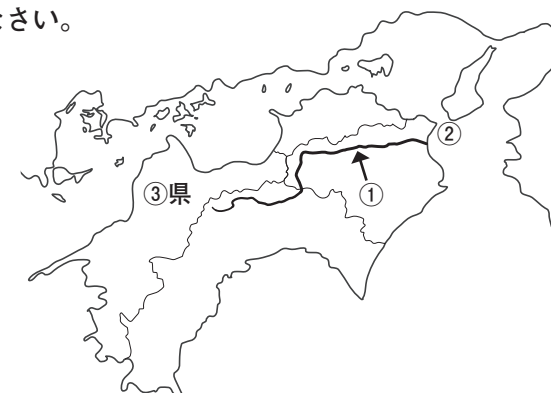
問 8 下線部㊦について、下の図は日本で養殖されている、ある水産物の都道府県別の割合を示したもの（2019年度）です。図の水産物に当てはまるものを、下から選び、記号で答えなさい。

広島県	61.3%
宮城県	13.2%
岡山県	7.5%
兵庫県	4.6%
その他	13.4%

(農林水産省『2019年度海面漁業生産統計調査』をもとに作成)

- ア. マダイ イ. ホタテ貝 ウ. カキ類 エ. ウナギ

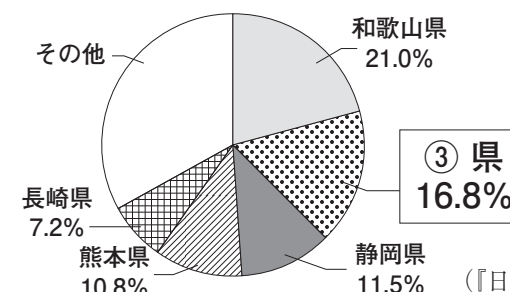
問9 下線部④について、下の香川県を含む四国の地図に関する次の(1)～(3)の問いに答えなさい。



- (1) ①の川の名前を、漢字で答えなさい。
- (2) 徳島県と兵庫県淡路島の間にある②の海峡の名前を、次のなかから選び、記号で答えなさい。
- ア. 鳴門海峡 イ. 関門海峡 ウ. 津軽海峡 エ. 対馬海峡
- (3) ③県ではみかんの生産が盛んです。下のグラフを参考に、その理由を1つ答

- ア. 鳴門海峡 イ. 関門海峡 ウ. 津軽海峡 エ. 対馬海峡

(3) ③県ではみかんの生産が盛んです。下のグラフを参考に、その理由を1つ答えなさい。 みかんの都道府県別生産割合(2019年)



(『日本国勢図会 2021/22』をもとに作成)

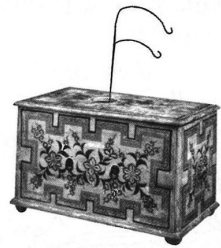
問 10 下線部㊦について、次の（１）（２）の問いに答えなさい。

- （１）将軍と御家人の間の封建制度^{ほうけんせいど}と呼ばれる仕組みについて、説明しなさい。
- （２）１２世紀から１３世紀に起きた次の出来事を、年代の古い順に並べ替えなさい。
- ア．武士の初めての法律が作られた。
イ．モンゴルが九州へ攻め込んだ。
ウ．東北の奥州^{おうしゅう}藤原氏が滅んだ。
エ．幕府を倒そうと承久の乱が起こった。

問 11 下線部㊧について、大陸や島につながる水深約３００メートルくらいまでの傾き^{かたむ}がゆるやかな海底部分を何というか、答えなさい。

問 12 下線部㊨について、１８世紀に起きた出来事に関する次の（１）～（４）の問いに答えなさい。

- （１）下の図のエレキテルを発明した人物を、下から選び、記号で答えなさい。



（第一学習社『最新日本史図表』）

- ア．平賀源内^{ひらがげんない} イ．青木昆陽^{あおきこんよう} ウ．杉田玄白^{すぎたげんぱく} エ．伊能忠敬^{いのうただたか}

- （２）１８世紀の後半に起きた飢饉^{ききん}の名前を、答えなさい。

（３）（２）の飢饉の原因の１つは火山の噴火でした。当時噴火した山を、下の地図のなかから選び、記号で答えなさい。



- （４）当時の江戸や大坂などでは、飢饉や米の値上がりに苦しむ人々が米屋^{おそ}を襲うような出来事が起きました。これを何といいますか、答えなさい。

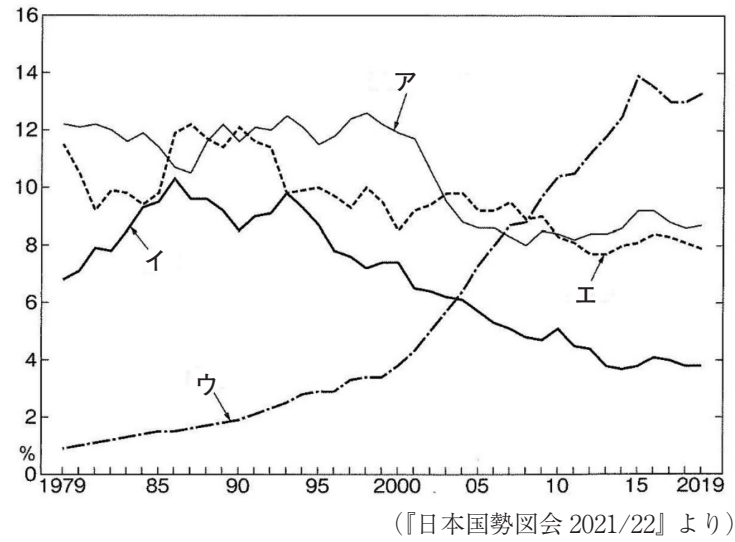
問 13 下線部㊩の佃村は、淀川の上流から運ばれてきた土砂が河口にたまってできました。このような地形を何といいますか、漢字で答えなさい。

問 14 下線部㊪について、多くの川が流れ込むと海が豊かになる理由を、説明しなさい。

問 15 下線部㉔について、外国との貿易に関する次の（１）（２）の問いに答えなさい。

（１） 1641年からオランダ人が貿易の根拠地とした港はどこですか、漢字で答えなさい。

（２） 次のグラフは、世界の総輸出額に占めるアメリカ合衆国、ドイツ、日本、中華人民共和国の割合の移り変わりを表したものです。アメリカ合衆国と中華人民共和国のグラフをそれぞれ選び、記号で答えなさい。



問 16 下線部㉕について、次の（１）～（３）の問いに答えなさい。

（１） 五島列島を含む長崎県には、多くのキリスト教の教会があります。16世紀に長崎を訪れたカトリック宣教師の団体の名前を、答えなさい。

（２） 次の表は、五島列島の多くの人口を占める、五島市の人口の移り変わりについてまとめたものです。この表から分かることを、2つ挙げなさい。

年	人口総数 (人)	世帯数	人口の割合（％）		
			15歳未満	15歳～64歳	65歳以上
1995	51295	20113	19.2	58.6	22.3
2000	48553	19967	16.1	57.5	26.4
2005	44765	19305	13.8	55.7	30.5
2010	40622	18382	11.8	54.8	33.4
2015	37327	17425	11.1	52.0	36.8
2020	34391	16526	10.5	48.6	40.8

(五島市ホームページ『五島市統計書』をもとに作成)

（３） 下の日本国憲法の条文は、五島市のような地方自治体に関するものです。本文中の空欄にあてはまる語句を、答えなさい。□内に1字とする。

第93条 ①地方公共団体には、法律の定めるところにより、その議事機関として（ア）□□を設置する。
②地方公共団体の長、その（ア）□□の議員及び法律の定めるその他の吏員は、その地方公共団体の住民が、直接これを（イ）□□する。
第94条 地方公共団体は、その財産を管理し、事務を処理し、及び行政を執行する権能を有し、法律の範囲内で（ウ）□□を制定することができる。

問 17 下線部㉖について、1996年に水産資源などを守るために定められた、200海里の海域を何といいますか。漢字7字で答えなさい。

問 18 下線部㉗について、1935年より後におきた出来事として正しいものを、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 五・一五事件が起きた。
- イ. 日本が国際連盟を脱退した。
- ウ. 関東大震災が起こった。
- エ. 二・二六事件が起きた。

問 19 下線部㉘について、次の（１）（２）の問いに答えなさい。

（１） 1964年10月1日に東京―大阪間で開通した鉄道の名前を、漢字6字で答えなさい。

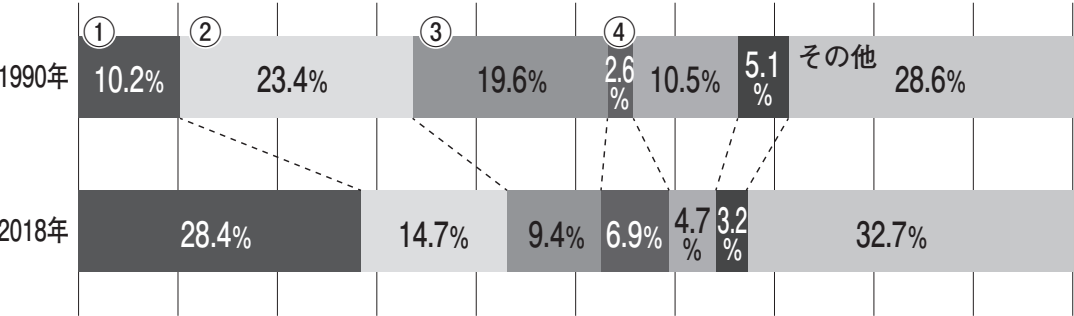
（２） この時代には、社会の変化に伴って人の移動が起きました。どのような移動ですか、説明しなさい。

問 20 下線部㉔をはじめとする環境問題について、次の（１）（２）の問いに答えなさい。

（１）2021年10月から11月にかけてイギリスで開かれた、^{き こうへんどうわくぐみじょうやく}気候変動枠組条約第26回^{ていやくこくかいぎ}締約国会議の略称について、下の空欄に当てはまる語句をアルファベットで答えなさい。□内に1字とする。

「□□□26」

（２）下のグラフは、世界の二酸化炭素排出量の国別の割合を示したもので、①～④はそれぞれアメリカ合衆国、EU（ヨーロッパ連合）、中華人民共和国、インドのいずれかです。グラフの①・②に当てはまる国名を、下から選び、記号で答えなさい。



（『世界国勢図会 2021/22』をもとに作成）

ア. アメリカ合衆国 イ. EU ウ. 中華人民共和国 エ. インド

問 21 下線部㉕について、次の（１）（２）の問いに答えなさい。

（１）神社の地図記号として正しいものを、次のなかから選び、記号で答えなさい。



（２）浦島太郎の伝説のような話は日本各地に残されています。それはなぜですか。
^{とくちよう}地形の特徴に触れながら、あなたの考えを述べなさい。

解答用紙 社 会 (第2回)

問1	(1)			(2)			(3)				(4)				(5)		
	(6)				(7)					(8)				(9)			
	(10)			(11)					(12)								

問2					問3					問4			
----	--	--	--	--	----	--	--	--	--	----	--	--	--

問5	(1)	①			②			(2)			台地	(3)			
----	-----	---	--	--	---	--	--	-----	--	--	----	-----	--	--	--

問6	(1)				(2)				問7	(1)			(2)		→		→		→	
----	-----	--	--	--	-----	--	--	--	----	-----	--	--	-----	--	---	--	---	--	---	--

問8																				()
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----

問9	(1)			川		(2)			
	(3)								

問10	(1)																			
	(2)			→		→		→												

問11																				
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問12	(1)			(2)				の飢饉	(3)			(4)								
-----	-----	--	--	-----	--	--	--	-----	-----	--	--	-----	--	--	--	--	--	--	--	--

問13									問14											
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問15	(1)			(2)		アメリカ合衆国				中華人民共和国										()
-----	-----	--	--	-----	--	---------	--	--	--	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----

問16	(1)																			
	(2)																			
	(3)	(ア)			(イ)			(ウ)												

問17										問18				
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	--	--	--	--

問19	(1)																			
	(2)																			

問20	(1)				(2)	①			②				
-----	-----	--	--	--	-----	---	--	--	---	--	--	--	--

問21	(1)																			
	(2)																			

受 験 番 号	氏 名	得 点	()

